

## 平成27年度北海道地区7国立大学法人工事入札監視委員会定例会議議事要旨

開催日及び場所	平成27年11月30日(月)北海道大学事務局新館2階大会議室	
委員	委員長 岸浪 建史 (学識経験者) 委員 石川 信行 (公認会計士) 委員 菊地 均 (大学教授) 委員 田中 宏 (弁護士)	
審議対象期間	平成26年10月1日～平成27年9月30日	
抽出案件(合計)	4件	(概要) 今年度及び来年度の委員長は、委員の互選により岸浪氏となった。 審議を開始するに当たり、石川委員より今年度の審議対象案件の抽出の考え方が説明された。 始めに、各大学の監査体制について、基幹校より説明がなされた。 続いて、抽出案件の個別審議については、各発注機関の担当者から説明があり、委員の質問等へ回答を行った。 次回開催時の案件抽出は、菊地委員が指名された。
工事(小計)	4件	
一般競争 (政府調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	4件	
通常指名競争	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務	0件	
委員からの意見・質問、それに対する意見等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査室長が、「学長が指名する理事」となっている大学の監査体制については、監事及び監査室の独立性の確保が必要ではないか。</li> <li>・ 入札監視委員会と各大学の監査室との情報共有を図ることで、入札監視という面の実効性があがると考える。</li> <li>・ 契約プロセスの適正さについては説明されているが、入札の内容と結果について、可能な範囲で詳細な説明をお願いしたい。</li> </ul>	

質 問	回 答
<p>1. 審議対象件数及び契約金額一覧について (基幹校より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>2. 点検事項該当案件一覧表について (基幹校より説明)</p> <p>・特になし</p>	
<p>3. 抽出案件の考え方について (石川委員より説明済み)</p>	
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <b>(1)競争入札において応札者が1者のみの工事</b> 1.【北海道大学】総合研究棟(歯学系)病院事務部移転改修電気設備工事 ・指定した管内にこの等級の業者はどのくらいいるのか。</p>	<p>・30から40者程度。</p>
<p>・日本電設工業の所在地は。</p>	<p>・支店が札幌にあります。</p>
<p>・当初3者入札の見込みとのことであったが、何によって得た情報か。</p>	<p>・本学の過去の実績を見ると、おおむね3者以上が参加しているので、それを見込んだ。</p>
<p>・1者しかこなかったのは、なぜだと思いますか。</p>	<p>・発注時期が年度末近くであったことと、病院関係の改修工事ということで、施工可能な業者が限定されたことや、実績のある業者が別件の仕事を受注していたことが主な要因と思われる。</p>
<p>・1者というのは、何かあるのではと思ひ浮かぶのは避けられないかなと思う。難しいところだが、こちらから声を掛けるとか、適切な競争を生むために待っているだけでいいのかとの感想がある。</p>	
<p>・日本電設工業は今までも受注したことはあるのか。</p>	<p>・あります。</p>
<p>・一般論だか電気設備関係の工事だと、それほど特殊な事案だと思えないので、出来るだけ競争条件が働くように配慮いただきたいと思います。</p>	
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <b>(1)競争入札において応札者が1者のみの工事</b> 2.【北海道教育大学】附属釧路中学校校舎改修その他工事 ・予定価格と1回目、2回目の入札価格の主な各科目(直接工事費など)における差は、どういふところにあつたのか。</p>	<p>・特にこの科目というわけではなく、全体的な価格が予定価格より高かつた。</p>

質 問	回 答
<p>・例えば人件費とか特定のものではなく、総合的にということか。</p>	<p>・そのとおりです。</p>
<p>・契約に至るまでの分かりやすい説明だったと思う。最後に1者になってしまったというところで適正な競争があったのか感じるころはあるが、不調に至った経緯を説明していることは良いと思う。</p>	
<p><b>4. 建設工事における抽出案件の審議</b>  <b>(1)競争入札において応札者が1者のみの工事</b>  <b>3.【室蘭工業大学】職員宿舎1RC-7等浴室改修工事</b>          ・浴室の改修についてもう少し細かく説明してもらいたい。</p>	<p>・浴槽と風呂釜は機械設備工事で対応している。その撤去した後の塗装、浴室の塗装工事を本建築工事で発注している。</p>
<p>・金額が小さいのに1者しかいない、技術的なハードルはそれほどではないはず。</p>	<p>・登別、室蘭、伊達地区にC等級とD等級が約40者。そのうち本学に出入りしている業者はそんなに数はないが、入札公告を出ているので公告を見て下さいと話をしている。今回応札してもらえなかった理由の一つは、宿舎というという特別の環境がある。入居しながらの改修になるので、その調整もハードルが高いのかと思う。</p>
<p>・時期的なものもあるが、この工事と何かを組み合わせたいなものは出来なかったのかなと言う思いがある。</p>	
<p><b>4. 建設工事における抽出案件の審議</b>  <b>(2)入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の工事</b>  <b>【小樽商科大学】事務棟耐震改修その他電気設備工事</b>          ・事務棟の耐震改修工事及びバリアフリー対策工事に伴う電気設備工事で、耐震改修工事がメインですか。</p>	<p>・耐震改修工事がメインで、バリアフリー対策のスロープ、自動ドアエレベーター、多目的トイレを設置している。</p>
<p>・従前、値段が合わなかったという話が多かった中で、安くて問題だというケースである。説明を聞いて経緯は了解した。他の大学に情報を共有していただき、適切な積算をしていただきたい。</p>	
<p>・1者辞退の原因は。</p>	<p>・直接は正直確認していないが、過去例だと他の入札があり、そこがとれたから、とよく聞きます。</p>
<p>・予定価格と相手方の工事内訳明細書の違いの大きな要素に分電盤があるとのことだが、分電盤は注文生産なので、在庫があったから安くなったという理由にはならないのではないか。</p>	<p>・今回は、標準品で対応が出来たということ。一般的な既製品の分電盤というレベルでした。</p>